

[優良賞] SD3.0-SATAブリッジLSI



代表取締役社長
平山 勝啓 氏

dブロード 株式会社

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-17-5

TEL. 045 (472) 2268

<http://www.d-broad.com/>

dブロードが開発した「新SDバス規格対応SD-SATAブリッジLSI」は、コンピューターと記憶装置を接続する方式の一つで、実装面積の低減や高速安定化の面でパソコン業界で高いシェアを占めるシリアルATA (SATA) に超高速SDメモリーカードを接続できる。また、複数のハードディスクを組み合わせることで、仮想的な1台のハードディスクとして運用させる技術であるRAID (レイド) 機能を付けた。チップの大きさは6ミリメートル四方で、厚さが1.15ミリメートル。

UHS-I対応でホストプロセッサと接続するインターフェースにSATAを採用した点、SD-SATAブリッジLSIで二つのSDホストを実装し、レイド機能を実現した点は、それぞれ業界初の取り組みで他社との差別化を図った。映像・音声技術が進化すると、機器内で処理されるデータ量が大きくなる傾向があるため、記憶装置の容量も増加する。将来、UHS-I対応SDメモリーの大容量化と低価格化が進むことで、さらなるアプリケーション展開が予想される。

デジタルカメラやパソコン、カーナビ、スマートフォン (多機能携帯電話) など高速かつ大容量の記憶装置を必要とする電子機器市場へ売り込みをかけており、すでに国内大手家電メーカーのデジタル一眼レフカメラ向けに採用された。2011年7月の量産出荷開始以来、12年12月までに累計で約20万個出荷した。現在、同メーカーから新機種・後継機種への採用が決まり、また、海外からタブレットPCや監視カメラ向けなど多くの引き合いが来ている。今後2年間で60万個の販売を見込む。

